

## 2023年度グローバル総合入試（総合型選抜）

### 第二次選抜における「出題意図」・「評価ポイント」

| グループディスカッション  |   |
|---|---|
| 出題意図  | 評価ポイント  |
| <p>本出題は、基礎的・基本的な知識・技能を活用して自ら課題を発見し、また、その解決に向けて探究し、その成果等を効果的に表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力及び多様な価値観を持つ人々と積極的に協働しつつ異なる考えを持つ人々から主体的に学ぼうとする態度を測ることを意図した。</p> <p>本出題に際して公表したテーマは「Diversity」である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参考資料等を基に、該当するテーマや関連する事柄について自ら様々なメディアを通じて調べ、多様な視点を理解していること。</li> <li>● 英語を用いて、学習した成果を他の受験者が理解しやすいよう効果的に表現することができること。</li> <li>● 思考力・判断力を働かせ自らの考えを主体的に表現でき、必要に応じて他者の意見に対して適切に反論や矛盾点の指摘ができること。</li> <li>● 他者の意見に耳を傾け、自らと異なる様々な視点について理解を示し、議論の展開に合わせて自らの思考を整理できること。</li> </ul> |

| 個別の口頭試問   |  |
|---|--|
| 出題意図  | 評価ポイント   |
| <p>本出題では、外国語（英語）を用いて効果的に自らの考え、入学後の目標や学習計画を他者に伝えることができる表現力を測ることを意図した。また、提出された志望理由書や学修計画書の内容を確認するとともに、与えられた課題に対する知識及び思考力・判断力に関連する素養についても評価した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自らの考えや地域の課題を世界に向けて発信するための「ツールとしての英語」を効果的に活用できること。</li> <li>● グローバルな視野から地域の問題を批判的に問い直すことで、新たな視点で解決のためのアイデアを生み出し、伝えることができること。</li> <li>● 志望理由書や学修計画書の内容等について、試験官からの確認のための質問や、より掘り下げた質問に対して的確かつ、適切に返答ができること。</li> <li>● 理系枠の受験者については、高等学校等で学習する数学の知識を問う質問に対して、迅速かつ適切に回答できること。</li> </ul> |